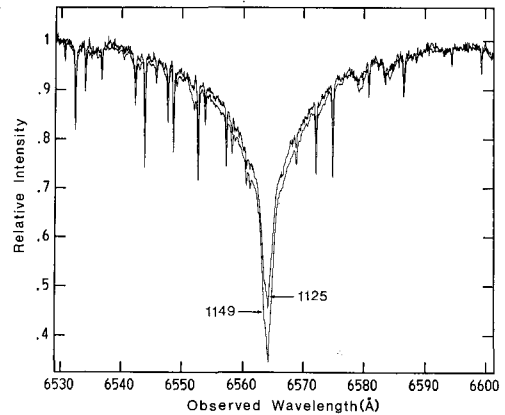


36 Lyncis の H α 線変動

36 Lyncis はヘリウム欠乏星に分類されている化学特異星である。IUE の UV 観測により、C と Si の 3 階電離イオンの異常な強さの吸収線の存在とその強さの変動が明らかにされている。これらの現象は、この星が強い磁気圏をもっているために生じていると考えられている。そこで、この星の外層を探るために、磁気圏の存在する外層大気の状態を敏感に反映する水素の H α 線に、何かおかしい事が現れているか否かを調べた。高精度レチコン観測のおかげで、0.03 日程度の短時間に、H α 線強度が 12% 弱まる変動が 1 例観測された (図参照)。しかし残念ながら、この変動が C や Si の変動とどう関連しているかは不明である (Takada-Hidai and Aikman, Publ. Astron. Soc. Pacific, 1989, **101**, 699)。もっと多くの観測をして、H α 線の様子を調べる必要がある。

比田井昌英 (東海大文明研)



レチコン・イメージ番号 1125 と 1149 の H α 線の比較。1125 の H α 線が弱い。

お知らせ

朝日国際奨励金 (アサヒ・フェローシップ) のお知らせ

この奨励金は、日本に関心を持ち、さらに研究を進めたいと願う有望な学者、ジャーナリスト、芸術家らを日本に 1 年間招き、活動・交流を通じて日本理解を深めてもらうというものです。

〔内容〕

- 3~4 人を採用し、1 年間 (原則として毎年 9 月から) 日本に招聘します。
- 奨励金の総額は 2000 万円で、研究内容に応じて選考委員会が適切な額を決定します。
- 来・離日時の往復航空券を支給します (エコノミークラス、本人のみ)。
- 滞日中の保険料金、税金は朝日新聞社が負担します。
- 来日中は、支給金で研究費、生活費をまかない、計画に基づいて研究・交流活動を行います。

〔応募資格〕

- 外国国籍の個人
- 大卒、またはそれにふさわしい経験を持つ人。学術研究分野は、Ph.D 取得者もしくはそれに相当する学識を持つ人を希望します。
- 日本に関する研究、学習活動を行おうとし、日本に滞在の必要がある人。自国でも同程度の活動が可能なのは受け付けません。
- 日本に現在長期滞在中の人、および今後長期にわたり居住する見込みのある人は受け付けません。留学・研

修などですでに来日の決定している人も受け付けません。

- 日常生活に事欠かない程度の日本語を話せることが望まれます。
- 特に年齢制限はありませんが、滞日活動終了後、自国においてその経験を生かし発展的活動ができる人、将来性を持つ人を希望します。

〔応募方法〕

- 募集は毎年 1 回、その年の 1 月 1 日から 3 月 31 日まで行います。
- 希望者は、所定の申請用紙で応募すること。申請用紙は本フェローシップ事務局に郵便で請求するか、募集期間中は朝日新聞社の海外総・支局にも備えつけてあります。
- 申請には必ず推薦書 (所定の用紙を使用) を添えること。応募者の日本語能力、研究テーマに関する能力、テーマについての評価ができる人物 (指導教官、上司など) に作成を依頼して下さい。
- 申請書、推薦書など応募書類は一切返却しません。

〔選考と通知〕

- 選考は朝日新聞社内にて選考委員会が行います。
- 選考結果は 6 月中に朝日新聞紙上で発表するほか、応募者本人にも郵便で通知します。

〔応募書類請求、申請書郵送先〕

〒104-11 東京都中央区築地 5-3-2
朝日新聞社文化企画局企画第二部内
アサヒ・フェローシップ事務局
電話 03-3545-0131 内 5484
FAX 03-3546-1894